

20th
Anniversary

平成 26 年 行方市成人式 祝 成人

新たな決意を胸に 大人の仲間入り

1月12日（日）、行方市文化会館で成人式が開催されました。色鮮やかな振袖やスーツ、羽織袴に身を包んだ新成人の皆さんは、家族や恩師への感謝と新たな決意を胸に、大人の仲間入りを果たしました。成人式の運営は、新成人で構成する実行委員会が中心となっていました。

式典では、鈴木市長が、「いつの時代も新しい時代を切り開くのは若者若い力です。それは、皆さんが持っている夢と希望、こうありたいという気持ち、それこそが日本と行方市の未来を切り開き、新たな時代をつくる大きな原動力です」と激励しました。

式典終了後は出身中学校の恩師を招き、新成人からの質問をするアトラクションを行いました。「私たちの名前を言えますか」「結婚しましたか」等の質問に、会場はおおいに盛り上がりしました。

その後、屋外に移動し、地区ごとに分かれて記念写真を撮影しました。

新成人の皆さんが行方市に愛着と誇りを持って、今後ますます活躍されることを期待いたします。

おめでとうございます。

※当日撮影した記念写真は、各公民館（麻生・北浦・玉造）にて4月2日から配布予定です（受け取りは代理の方でも構いません）。



実行委員会 ※敬称略

元木麻友美 中川智美 溝口夏美 小松崎涼
山野潤 森田ひかる 高柳法臣 小津拓真

1 今年の新成人が生まれた年

1993 ⇒ 1994

5 月 サッカーJリーグ開幕

6 月 皇太子さま 雅子さまご成婚

8 月 非自民の細川首相誕生

1ドル 100 円台に突入

10 月 マンデラ氏らにノーベル平和賞

12 月 コメ市場開放政府決定

2 月 初の純国産ロケット打ち上げ成功

リレハンメル五輪ノルディック複合団体金



2



3



4



5



6



①今年の行方市の新成人は 387 名。そのうち式典には 291 名が出席しました。②艶やかな振袖姿の新成人達。③④懐かしい同級生との再会。写真を撮り合ったり、談笑したりと 20 歳の喜びを分かち合いました。⑤⑥式典後のアトラクションでは恩師の先生への質問タイムで盛り上がりました。

新成人に聞きました!

二十歳の抱負

それぞれの熱い想いを胸に、夢に向かって歩みはじめた新成人たちに
「二十歳の抱負」を聞きました。



成人者代表発表 — 成人を迎えての抱負 —



中川 智美さん

私たちは今、20歳を迎えると同時に、選挙権を与えられ喫煙や飲酒も許され

多くの自由を与えられました。しかし、多くのことを自ら選択し判断しなければなりません。大人として社会に存在することで、未来への可能性が広がるとともに自らの行動に対して責任を負わなければならないことの重要性を感じています。

私が20歳を迎え、改めて強く思うことは、人と人の繋がりについてです。2011年3月に発生した東日本大震災以後、「きずな」という言葉を耳にした方も多いのではないのでしょうか。私は震災後ボランティアとして宮城県に行きました。メディアを通して情報ではなく、実際に自分の目で見た光景は、想像していた以上に被害が大きく、地震や津波の爪痕が強く残っていました。震災から3年を迎えようとしている今なお、たくさんの方々が辛い環境の中で頑張っています。震災からの時間の経

過とともに忘れかけてはいないでしょうか。被災地では私たちのような若い人達の力を、今とても必要としています。震災から、思いやり、助け合うことの大切さを改めて教えられ、それは当然だと思い、周囲への感謝を忘れないようにと、口にしながらも、どこか当たり前に感じ、振り返るとただ漠然と唱えていただけのよう気がします。

私は高校卒業後、作業療法士という資格を取得するため専門学校へ進学し、慣れ親しんだ茨城を出て一人暮らしを始めました。そこで改めてこれまで自分がいかに周囲に支えられ、生活していたかを実感しました。家に帰れば、家族が私の帰りを、部屋を暖かくして待っていてくれたこと、ご飯やお風呂が用意されていたこと、また、学校では生徒に寄り添い、至らない点は、時に厳しく、時に優しく指導してくださる先生方がいたこと、たわいもない話で笑い・悩み・励ましてくれた友人がいつもそばにいてくれたこと。以前の私は、本当は感謝しなければならなかったさんの事をしてもらうことが当たり前のように感じていた自分に気づきました。今私が目指している作業療法士という職業は、身体のリハビリだけでなく精神的な心のリハビリも行い、人の生活や人

生に密着した職業です。20歳を迎えて、気づくことのできた「当たり前」のようで、本当は当たり前でない事への感謝を忘れず、たくさんの人達の「当たり前」を支えられる人になれるよう、今後も努力していきたいと思います。



山野 潤さん

本日成人式という大きな節目を迎え、私の今後の抱負は個性のある大人になることです。

例えば仕事の場合。私は神栖にある工場で働いているのですが、働く上では細かいルールが多くあります。ルールを守って与えられた仕事をする。これは当たり前のものであり、社員誰もがやっていることで、自分も人と同じことをしていたら、きっと誰の目にもとまらないでしょう。自分だからこそ任せてもらえる仕事を貰うにはどうしたらいいかと考えると、やはり個性が大切だと私は思いました。

自分なりに考え工夫しながら仕事を

することで、それが個性となり、誰かの目にとまる。それとともにやりがいにも繋がると私は考えます。

社会人になって2年目になり、学んだことがあります。それは、自分を積極的に主張しなければどんな人に埋れ、自分の存在が薄くなってしまうことです。会社には多くの社員がいて、毎年新入社員も入ってきます。その中で存在を示していくために、自分という個性を仕事で表し、積極的に自分を主張できるよう努力していこうと思います。個性が大切というのは、仕事だけにいえることではなく、地元活性化にも必要なことだと思っています。

今私達は、学校に通っている人もいれば、働いている人もいて、それぞれが違うことを学んでいます。それぞれが学んだことを集めるとさまざまな知識、技術があり、これも個性です。それを将来活かすことができれば、私達の地元行方市も良い方向に向かっていくのではないのでしょうか。

成人を迎え大人の仲間入りをし、これから先、様々な困難もあると思いますが、個性という自分の強みを伸ばしながら、しっかりとした大人になれるよう努力していきたいと思っています。